

| 会 議 記 録 | | | |
|-----------|---|------|--------------------------|
| 会 議 の 名 称 | 広報広聴会議 | | 会議場所 第3委員会室 担当職員 鈴木 智 |
| 日 時 | 平成28年8月29日(月曜日) | 開 議 | 午後 3時 51 分 |
| | | 閉 議 | 午後 4時 31 分 |
| 出席委員 | 菱田 奥村(広聴部会長) 山本(広報部会長) 三上 富谷 小川 並河 竹田 平本 | | |
| 事務局出席者 | 門事務局長、山内次長、船越副課長、鈴木議事調査係長、池永主任、山末主事 | | |
| 傍聴 | 可 | 市民1名 | 報道関係者 0名 議員 0名() |

会 議 の 概 要

1 5 : 5 1

[菱田委員長 開議]

1 広報部会活動

(1) 議会だより

[山本副委員長 説明]

・議会だより 169について意見をいただきたい。

<奥村副委員長>

消防団員から表紙の写真がよかったとの意見をいただいた。

<山本副委員長>

議会だより 170の特集は決算審査の内容を掲載する予定としている。高校生議会の記事掲載の取り扱いについては広報部会に一任いただきたい。また、最終校正段階のものをレターケースに入れるのでその際に確認いただきたい。

全員了

2 広聴部会活動

(1) 議会報告会について

[奥村副委員長 説明]

・議会報告会は11月8日(火)午後8時から市民ホールで開催し、9月定例会の決算審査の内容を報告する。

・出席議員は全議員とし広報はキラリ 亀岡おしらせやフェイスブック等で行う。

・当日の受付等は広聴部会の委員で分担する。

・各委員会での審査内容の報告は委員長が行う。

(2) わがまちトークについて

[奥村副委員長 説明]

・わがまちトーク(自治会版)については、5件の依頼があり調整した結果、下記の通り実施したい。

千歳町自治会 10月27日 20時～

東本梅町自治会 1月17日 20時～

千代川町自治会 1月14日 20時～

畑野町自治会 1月18日 20時～

本梅町自治会 10月29日 13時30分～

- ・テーマは自治会と調整を行う。
- ・わがまちトークには各常任委員から2名ずつ選び、合計6名で出席する。9月定例会中の常任委員会で決定する。
- ・東本梅町自治会、畑野町自治会、本梅町自治会からは地元議員である奥野議員に出席するよう要請があるため調整していく。その結果により総務文教常任委員は1名のみ選出するのか2名選出するのか今後協議したい。
- ・わがまちトーク（各種団体版）については、現時点で申込みがない。

（3）高校生議会について（総括）

[議事調査係長 説明]

<三上委員>

高校生はよくがんばっていた。再質問を行うことは高校生にとって難しいと感じた。自由討議でたくさん意見が出たのでよかったと思う。決議文については選挙の投票率についての内容が中心であったため、高校生の意見を述べる内容が必要だと感じた。

<奥村副委員長>

決議案作成の段階で三上委員の意見も踏まえて文言は修正している。

<小川委員>

率直な高校生の意見を聴くことができよかった。今後も続けたい。意見交換会は非常によかった。

<平本委員>

今回は選挙権年齢が引き下げられて高校生議会を実施したが、いつまで続けていくのか。また、今後どのような議会を実施するのか。收拾がつかなくなるのではないのか。本当に続けていくのかを含めて検証するべき。

<山本副委員長>

高校生議員が自由討議の中で、あえて再質問を市長に対して行ったことは印象に残っている。積極的に意見を出されたので意義があったと考えている。

<竹田委員>

議会のパフォーマンスの域は出ていないと感じる。選挙に興味を持ってもらうのが議会の仕組みを知ってもらうのか。高校生と議員でグループを組んで質問をすることも考えられる。議会を知ってもらうことについては、議員がもっと関わっていけるとよかったと考える。全議員で取り組めるものがよい。

<富谷委員>

意見交換会で高校生は参加してよかったとの意見が多かったように思う。高校生が得たものは大きいと思うし、後輩に引き継いでいけば政治への関心が高まっていくと考える。有権者となる高校生の本音も聞けたし、高校生議会を続けていけばよい。

<並河委員>

高校生が考えている内容や高校生は自分たちのまちをしっかりと見ていることも分かったのでよかったと思う。

<奥村副委員長>

高校生議会には保護者が来られなかったのが、高校生と小学生では全く違うと感じた。保護者も見に来ていただけると家庭で選挙の話題が出たりして投票に行くことにつながると思う。

<菱田委員長>

高校生はしっかりと自分の考えを持っている。議会の仕組みを知ってもらいながら、

市長へ質問を行えるような取り組みがよいと感じた。議会も若い世代の声を聴きながらまちづくりを進められたらよいと感じた。

(4) ソーシャルメディア運用ガイドラインの見直しについて

[議事調査係長 説明]

<菱田委員長>

ガイドラインの掲載事項に広報広聴会議が必要と認めたもの、議長が必要と認めたもの、議長公務、議会の活動報告を加えてはどうか。

<竹田委員>

委員長の意見のとおり、現在の運用に適したガイドラインの内容にするのがよい。

<平本委員>

現在の運用に適したガイドラインの内容にするのがよい。

<三上委員>

現在の運用に適したガイドラインの内容にするのがよいと考えるが、その反面難しさも感じている。決裁を得てから記事を掲載する形にはなっておらず、文章の表現も難しいのではないかと。議会としては掲載する内容をあまり広げない方がよいのかとも考える。

<菱田委員長>

フェイスブックの運用を開始する際に、事務局で記事を掲載するという議論をしてきた。そうすると決裁をとり記事を掲載することとなりリアルタイムでは記事を掲載できないという結論となった。その結果、議員が記事を掲載することとなった経過がある。議員個人のフェイスブックと混同する可能性もある。ありのままを伝えることが必要であるが表現は難しいと考えている。フェイスブックの管理権限者で勉強会を開いてもよい。フェイスブック開始時と現在の運用は変わってきているので、合わせられるようにできればと考えている。

<三上委員>

個人のフェイスブックで個人の責任により私見を掲載するのはよく、この場合議会としての責任は問われないこととなる。全国的に見ても議会の活動を掲載している市議会はまだ少ないので、現状のままでもとどめておくのも一つの方法である。他に異論がなければ委員長の提案される内容でよい。

<竹田委員>

私はガイドラインと現在の記事掲載の運用が違うので、整合性を持たせるためにこのことについて検討を提案した。市議会にはホームページもあるが、フェイスブックでは議長公務等の記事を掲載することにより、リアルタイムで市民に議会について知ってもらおうとするものである。文言の訂正もすぐに対応しているし、ホームページとの違いは出せていると思う。根本的な見直しには時間もかかり、これとは違う部分での検討が必要となる。

<菱田委員長>

ガイドラインに(8)議長公務、議会の活動報告、(9)その他議長、広報広聴会議が必要と認めるものとしたい。

<議事調査係長>

文言の整理については委員長に一任いただきたい。

全員了

3 その他

(1) 次回会議

< 議事調査係長 >

次回の広報広聴会議は閉会日に開催いただく予定となる。

散会 16 : 31